

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センターあんま担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和 6 年 6 月 11 日（火） 13 時 30 分 ～ 15 時 00 分
2 開催場所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
3 参加者	35名 委員 19名（中ノ町地区：7名、和田地区：5名、蒲地区：7名）、関係機関 12名、事務局 4名
4 協議の内容	1.開会 2.自己紹介 3.会長・副会長の選出 会則第7条に基づき、会長・副会長の選出を行った。 4.挨拶:会長 5.前回までの振り返り 配布資料に基づき、事務局より前回までの振り返りを行った。 【主な意見・質問等】 特になし。 6.情報提供 他地域の協議体の取り組みについて 配布資料に基づき、事務局より情報提供を行った。 【主な意見・質問等】 特になし。 7.協議事項・テーマ (1)今年度協議してみたいテーマ・話を聞いてみたい講師 情報提供を踏まえ、地区ごとに分かれて協議を行った。 協議後、各グループのファシリテーターから挙げられた主な意見について共有を行った。 【主な意見・質問等】 〈中ノ町地区〉 ・キーワードとしては「居場所づくり」や「担い手不足」が挙げられた。 ・講師としては、理論や考え方に関する話ではなくて、実践的な取り組み事例について聞けると参考になるのではないかという意見が挙げられた。イメージとしては様々な切り口から見てうまく活動や運営を行っているサロン等から話を聞きたいという

意見が挙げられた。

〈和田地区〉

- ・キーワードとしては「居場所づくり」や「買い物支援」、「担い手不足」が挙げられた。
- ・キーワードや講師というよりも、そもそも地域の実態を把握することや、地域の課題について共有して取り組みについて協議する場が必要ではないかという意見が挙げられた。関連して、以前地区社協で生活の困りごとに対するアンケート調査を行ったため、その結果をより活用したいという意見が挙げられた。

〈蒲地区〉

- ・キーワードとしては「担い手不足」が挙げられた。特に実際に活動展開の中心になって動いていく人が少ないのではないかとという意見が挙げられた。
- ・以前サロン代表者会議を行った際に、お互いの活動について紹介し合ったのが貴重な機会と感じたため、講師としては、実践的な取り組みについて聞きたいという意見が挙げられた。

(2)本日の振り返りについて

①本日の協議で印象に残ったこと、感じたこと

②今年度協議してみたいテーマ・話を聞いてみたい講師

地区混合グループで協議を行った。

協議後、各グループのファシリテーターから挙げられた主な意見について共有を行った。

【主な意見・質問等】

- ・「担い手不足」については「居場所づくり」など他のキーワードとも大きく関わっているのではないかとという意見が挙げられた。
- ・楽しいと感じる活動については運営者も利用者も集まり、地域に広がっていくため、そのような取り組み事例について知りたいという意見が挙げられた。
- ・全年齢を対象にした活動が少ないのではないかとという意見が挙げられた。
- ・後継者や活動を引っ張っていく者がいないという意見が挙げられた。

8.その他

(1)生活支援体制づくり協議体委員報酬の支払いについて

事務局より、委員報酬の支払いが今年度から振り込みになることについて周知した。

【主な意見・質問等】

特になし。

(2)令和6年度 生活支援体制づくり協議体包括あんまスケジュールについて

事務局より、第2回を10月、第3回を2月に開催予定であることについて周知した。

【主な意見・質問等】

特になし。

(3)令和6年度 生活支援体制づくり協議体包括あんま(第2回)について

事務局より、第2回の日程について確認した。

【協議結果】

日時：令和6年10月29日(火)13時30分から15時00分まで

場所：東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室

9.閉会:副会長

5 今後の見通し・
必要な対応

前回までの振り返りを踏まえ、今年度は以下を意識して協議を行っていくこととした。

- ①3地区共通のテーマ設定を行い、各地域のキーワードや目標について協議を深める、
- ②情報提供や協議のファシリテーションを積極的に行う、
- ③3地区混合グループ等、様々な協議方法の実施

今回の協議体では、今年度の協議テーマや話を聞いてみたい講師について協議を行い、「担い手不足」や「居場所づくり」などのキーワードが挙げられた。第2回以降は、これらのキーワードについて協議を深めていく。また、協議をするにあたって参考になる情報を提供できるよう調整を進めていきたい。